

カトリック 新潟教区報

第271号 2021(令和3)年5月31日 発行

編集・発行 カトリック新潟教区広報委員会
〒951-8106 新潟市中央区東大畑通1-656
TEL 025-222-7457 FAX 025-222-7467

新潟司教 パウロ 成井大介



コロナ禍にあつて歩みを続ける教会

昨年の3月にコロナ禍が始まってすでに1年以上が経ちました。特に今年の3月から新潟教区3県でもコロナ禍が拡大していますが、聖週間の典礼を2年ぶりに公開で行い、ともに集い、祈ることができた恵みを神に感謝したいと思います。現在、新潟教区ではほとんどの小教区で公開ミサが実施されていますが、聖堂内における3密回避のためにミサを2回に分けたり、聖歌が歌えなかったり、ミサの後に茶話会などの集いを行えなかったりと、活動を制限せざるを得ない状況です。また、中には健康や仕事などの関係で、昨年3月からミサに参加できていない方々もおられるとのこと。特にミサにあずかることのできない皆様のためにお祈りしております。収束の時はまだ見えてきませんが、皆様の協力によって、教会でのミサや集いを安全に行つて来られていることに心より感謝いたします。これから神への信頼のうちに、互いに祈り、支え合いながらこのいのちの危機を乗り越えていきましょう。

さて、昨年9月に叙階されてから、これまで教区内の25の教会と、すべての修道院を訪問いたしました。コロナ禍のためゆっくりと交流することができませんが、このような状況

だからこそ、ともに集い、神の言葉を聞き、主の食卓を囲むという初代教会の時から続けられてきた営みの大切さを強く感じています。この3月からは公式訪問が始まりました。今年は地区別に回るのではなく、できるだけ早く教区のすべての教会を訪問できたらと考えています。その際、共同体のことを教えて頂き、意見交換をする時間を取っていただいています。訪問の様子は教区のホームページに掲載していますので、ぜひチェックしてみてください。

www.catholic-niigata.net

この半年ほどの間に、新潟教区にとって重要な出来事や行事がたくさんありました。

11月・長岡教会新聖堂献堂式。
2月・新庄教会10周年記念ミサ。
3月・新潟地区大会。ノートルダム幼稚園・保育園新園舎祝福式。岡秀太神学生助祭叙階式。聖心の布教姉妹会新潟修道院閉鎖。

4月・聖園短大創立80周年記念式典。鶴岡教会新司祭館、信徒会館祝福式。

お祝いの時を迎えられた皆様、おめでとうございます。聖心の布教姉妹会の皆様には、新潟における長年にわたるお働きに心から感謝いたします。

今年に入つて教区の司祭評議会と宣教司牧評議会が発足し、3月30日に司祭評議会が、そして4月29日には宣教司牧評議会が開かれました。司祭評議会は教会法に定められた特定の事柄について意見を聞く司教の諮問機関で、宣教司牧評議会は、司祭、修道者、信徒からなる教区の宣教司牧についての司教の諮問機関です。

今回はどちらの評議会においても、特に教区の宣教司牧についての基本方針と活動計画について意見交



宣教司牧評議会

換が行われました。年頭書簡にも書きましたが、現在新潟教区が取り組んでいる優先課題は2012年の教区創立100周年の時に改訂されたものです。ぜひ今一度、教区のホームページなどでご確認ください。これまでの9年間、新潟教区はこの優先課題に取り組み、毎年開催される宣教司牧評議会の場で活動の振り返りを行ってきました。しかし、宣教司牧評議会は司教座が空位になると解散するため、2018年からはこの作業が中断されています。また、この9年の間に教会も社会も大きく変化しました。特にコロナ禍は、集うことができない共同体のあり方やインターネットを利用した新しい繋がりが方など、全く新しい課題と可能性をもたらしました。そこで、教区として新たな歩みを始めたこの機会に、教区全体で優先課題をはじめとする宣教司牧の取り組みについての振り返りを行い、神が今わたしたち新潟教区に何を望んでおられるのかともに考えていきたいと考えています。具体的な振り返りの方法については、コロナ禍の状況を見つまたご案内いたします。福音の喜びをもに生きる共同体として歩みを進めて参りましょう。

司祭人事

() 内はこれまでの任務等

4月1日付

《秋田地区》

トウ・ダン・フック師 本庄教会主任(吉祥寺教会助任)

〓 神言修道会

グエン・タン・ヒ師 大館教会・鹿角教会助任(南山教会助任) 〓 神言修道会

《山形地区》

スリ・ワルヨ師 山形教会(新庄巡回教会)主任(下館教会主任) 〓 イエズス・マリアの聖心会

ドン・ブライアン・マルネグロ師 山形教会(新庄巡回教会)助任(取手教会助任) 〓 イエズス・マリアの聖心会

《教区外への転出》

千原通明師(山形教会主任) 〓 イエズス・マリアの聖心会

ペトゥルス・アド・ベララウエ師(山形教会助任) 〓 イエズス・マリアの聖心会

ラディティア・クルニアディ師(大館教会・鹿角教会助任) 〓 神言修道会

《退任》

桃田清明師(本庄教会主任) 〓 神言修道会 退任後は秋田教会に居住

4月14日付

《教区外への転出》

南雲正晴師(高田・直江津・糸魚川教会協力司祭) 〓 フランシスコ会

...

「性虐待被害者のための祈りと償いの日」のミサ

教皇フランシスコは2016年世界の司教たちに向けて、毎年特定の日を「性虐待被害者のための祈りと償いの日」として定め、祈りと償い、被害者の痛みを学ぶ機会とするよう呼びかけました。日本の司教団はこれに応え、毎年四旬節の第2金曜日を「性虐待被害者のための祈りと償いの日」と定め、2017年から実施しています。(2021・2・5付司教文書より)

この定めにより、今年は3月5日がこの日にあたります。新潟教会では3月7日四旬節第3主日をこの日とし、成井司教司式により祈りのミサが捧げられました。

四旬節は回心と恵みの時である。自分の弱さから目を背けず、しっかりと自分を見つめ、神の愛を受け止めてほしい。と説教で神の愛を説いてくださいました。

また、キリスト者、しかも聖職者が子どもたちを性的に虐待するなどということは絶対にあってはならないことである。神の愛を伝えていく役割を担う教会もまた、過ちを犯す不完全な存在です。わたしたちは謙虚にその過ちを認める勇気を持ち、

「カトリック新潟教区ハラスメント防止宣言」

「私たちカトリック新潟教区は、神からの賜物であるいのちを与えられたかけがえのない存在として、すべての人はその人格の尊厳が尊ばれることを深く認識し、あらゆる形のハラスメントによって、他の人の人権を侵害する言動を行わないことを決意します。またハラスメントを防止するための配慮と普段の努力を行うことを宣言します。」



誤った行いを正していかなければなりません。と強く宣言されました。この回心と恵みの時にあって、わたしたちも洗礼を受けた時の心を出し、キリストの十字架に、死と復活のいのちにあずかる恵みに感謝し、この恵みを他の人々、とくに小さく弱い人々のいのちを守るために、また神の愛を伝えるために使っていくことができるよう、神の導きを願いましょう。と呼びかけられました。

拝領祈願の後、本年度改められた「カトリック新潟教区ハラスメント防止宣言」を全員で唱えました。

岡秀太神学生

助祭叙階おめでとうございます

2021年3月20日、新潟カテドラルにおいて岡神学生の助祭叙階式が執り行われました。この日を待ち望んでいた方々も多く居られたことと思いますが、コロナ禍の中、参加人数が制限され行われました。叙階式から少し時間も経ち、今は司祭叙階に向けての勉強と助祭の奉仕でご多忙の毎日ですが、時間を割いていただき現在の心境などを綴っていただきました。教区の皆様には是非ご一読いただき、次なる司祭叙階に向けてお祈りくださいますようお願いいたします。

助祭叙階を受けて

助祭 マキシミリアノ・マリア・コルベ 岡 秀太



新潟教区の皆さまに支えられ、助祭叙階の恵みを受けて2か月が過ぎようとしています。これまでの歩みを支えて下さった皆さまの祈りとご支援にもう一度心から感謝させていただきます。ほんとうにありがとうございました。助祭に叙階されましたが、神学生であることは変わりありません。今年には最終学年となり、7月の卒業試験にむけての準備が始まっています。この試験はバカロレアといえます。卒業後、ローマに留学して勉強するためにはこの試験をパスする必要があります。あるということです。私たちの学年は年齢が高いのでローマ留学ということは考えられませんがこれまでの5年間の学びの振り返りという意味ではとても大切な試験となります。

典礼との関わりと言う点では叙階を境に大きく変化しました。同級生の助祭様が祭壇の向こう側とこちら側という風におっしゃっていました。本堂ならば「あちら」も「こちら」もないはずですが、祭壇に直接奉仕するという点ではやはり大きく違います。

ます。わたしも「こちら」と「あちら」という風に感じてしまっています。それはともあれ、祭壇への奉仕も助祭の大きな役目の一つです。自分が担当する1週間は、典礼の手順を間違わないように常に緊張している状態が続きます。正直なところ疲れます。ですが助祭は最初みんなそうだと思います。

また祝福にも困りました。神学校の「教会の祈り」では毎晩、神学生を祝福することが助祭の務めとなります。いつも一生懸命、祝福してはいますが、「これでちゃんと祝福されているのか」と不安になるところがあります。手から光線でも出てくれれば分かりやすく安心するのですが、それだと漫画になります。叙階は秘跡ですから、わたしがどんな人間かで、祝福が増えたり減ったりはしないはずですから大丈夫だと信じて祝福しています。

ふと考えると、神学校生活は1年を切っています。これまで助祭が留年したことはないとのことです。なので頑張ればなんとかなるかもしれません。残された神学校生活で



何ができるか分かりませんが、状況が許す限りいろいろな知見を深めたいと思います。そして、どんなことがあってもイエスと強くつながる深い祈りを探したいと思います。

最後に、わたしは今回の叙階式で祈りの支えを強く感じました。神の望みであれば司祭職へとお招きくださるように皆さまに引き続きお祈りいただければ幸いです。

カトリック新潟教区 地区長・司祭評議会・顧問団 人事

《2021年3月1日発令》

地区長

秋田地区：プラフル・クジュール 師(再)

山形地区：スリ・ワルヨ師(新) 4月1日より(3月31日までは千原通明師)

新発田地区：石黒晃泰師(新)

新潟地区：坂本耕太郎師(新)

長岡地区：伊藤幸史師(新)

司祭評議会

一 職務上の評議員：眞壁良雄師(司教総代理)と各地区長

二 司教による任命：佐藤允広師、新立大輔師、大瀧浩一師

三 地区選出：フリッツ・ラウリ

チオ師(秋田)、楊成源師(山形)、田中丈夫師(新発田)、ラウール・バラデス師(新潟)、伊能哲大師(長岡)

※二、三の任期は2023年春の評議会まで

顧問団(向こう5年間)

眞壁良雄師(再)

大瀧浩一師(再)

石黒晃泰師(新)

新立大輔師(新)

スリ・ワルヨ師(新)

伊能哲大師(新)

4月1日より

新潟教区

二〇二〇年度 決算報告

二〇二〇年度の「小教区一般会計」と「教区本部会計」の決算が教区責任役員会、顧問会、司祭評議会承認されましたので報告させていただきます。

小教区会計の収支状況

小教区の一般会計は収入合計から支出合計を差引いた収支残高は531万円のマイナス（赤字）で、前年度比178万円赤字が増えております。建物の建設や什器備品の購入、借入金返済等の財務収支を除いた経常収支残では1,100万円のプラス（黒字）で前年度比602万円黒字が増えておりますが、経常収支残が赤字の小教区は16教会あり厳しい財政状況が続いております。

当年度の財政面での特記事項は次の通りです。

- ・献金収入が前年度比98.2万円(12%)減少、うちミサ献金収入が59.3万円(27%)減少しております。高齢化、少子化による収入減のほかコロナ禍でミサ中止も大きな要因と思います。
- ・成井司教様の叙階式費用として各小教区に33.5万円の負担をお願いいたしました。叙階式費用は22.8万円要し、収支差額は10.7万円となりましたが一粒会会計に積立て、司祭召命のための基金とさせていただきます。
- ・財務収支額、寄付金収入、宗教活動費が前年度比大きな動きになっておりますが、長岡教会で聖堂、信者会館・司祭館の建替えに伴う資金の収支が要因です。また、特別会計を加えた次年度繰越残高は前年度比1億7,876万円減少しておりますが、これも長岡教会の建設に伴うものです。

教区本部会計の収支状況

一般会計で処理している司祭人件費等の収支残と一粒会収支残高を差引いた一般会計の実質収支残高は485万円のプラス（黒字）となりました。この中には新潟市寺尾に建立した司祭の共同墓の建設費を司祭会計（特別会計）で賄うことにした収入分と、中央協議会に送金する指定献金の一部減免分の収入が含まれています。この特別収入分を除いた一般会計の財務状況は収支トントンの状況になりました。

- 年度比大口の増減要因は次の通りです。
- ・実質収支残高は前年度比1,781万円減ですが、これは前年度に売却した土地代金の一部を、将来の教区財政基盤拡充の為に運営基金とし教区負担金収入に計上したものです。
 - ・寄付金収入、献金収入、宗教活動費が前年比増加しておりますが、要因は司教叙階式関連の収支額増によるものと引退司祭からの特別寄付金が増加の要因です。司教叙階式の資金収支は別表「司教叙階式収支報告」で報告させていただきます。

「二粒会会計」、「建設・共済基金会計」、「指定献金・特別献金集計」の決算状況は別表のとおりです。

信徒の減少、過疎化、高齢化とともに社会情勢や経済状況の変化等で教会活動も大きく制約され様々な困難が増しております。またコロナ禍の中で信徒の皆様には財政面の負担をお願いすることになりますがご協力とご支援をお願いいたします。

（教区事務局長 大瀧浩二）

2020年度 教区本部一般会計収支決算書

自. 2020年1月1日~至. 2020年12月31日

(金額単位1,000円)

項 目	2020年度決算	2019年度決算	前年度増減額
負担金収入	21,224	38,921	-17,697
教区負担金（教区維持費）	10,000	27,478	-17,478
司祭活動負担金	5,843	5,869	-26
一粒会負担金	3,701	3,894	-193
学校法人	1,680	1,680	0
寄付金収入	35,681	22,132	13,549
司祭寄付金	27,362	17,845	9,517
一般・特別寄付金	8,319	4,287	4,032
献金収入	10,644	2,673	7,971
その他の収入	540	2,151	-1,611
収入合計	68,089	65,877	2,212
宗教活動費	12,754	7,027	5,727
神学生養成費	3,883	4,188	-305
祭儀費、寄付金 等	8,871	2,839	6,032
事務運営費	5,397	4,756	641
人件費	27,318	25,879	1,439
司祭・職員給料	22,960	22,040	920
法定福利費	2,597	2,633	-36
その他	1,761	1,206	555
その他の支出	3,995	2,375	1,620
支出合計	49,464	40,037	9,427
①収支差額	18,625	25,840	-7,215

＜ 特別会計 司祭寄付金等と司祭人件費 ＞

司祭寄付金・司祭活動負担金	34,405	23,714	10,691
司祭人件費（含法定福利費）	20,446	20,213	233
②司祭人件費等収支額	13,959	3,501	10,458

＜ 特別会計 一粒会負担金と神学生養成費 ＞

一粒会負担金等	3,700	3,894	-194
神学生養成費	3,868	4,187	-319
地区練成会等補助	14	29	-15
③一粒会収支額	-182	-322	140

一般会計実質収支額 (①-②-③)	4,848	22,661	-17,813
-------------------	-------	--------	---------

2020年度 小教区一般会計収支決算書

自. 2020年1月1日~至. 2020年12月31日

(金額単位1,000円)

項 目	2020年度決算	2019年度決算	増減額
献金収入	71,300	81,118	-9,818
教会維持費収入	39,650	41,651	-2,001
ミサ献金収入	15,671	21,601	-5,930
一般・臨時献金収入	6,445	7,561	-1,116
祭儀献金収入	4,648	5,149	-501
司祭活動献金収入	4,886	5,156	-270
指定献金収入	4,480	4,379	101
一粒会献金収入	3,604	3,820	-216
寄付金収入	30,987	40,450	-9,463
事業収入	266	187	79
その他の経常収入	2,500	2,866	-366
経常収入計	113,137	132,820	-19,683
財務収入	211,678	131,250	80,428
収入合計	324,815	264,070	60,745
宗教活動費	40,726	61,428	-20,702
指定献金支出	4,917	4,341	576
一粒会献金支出	3,774	3,961	-187
事務運営費	28,975	32,481	-3,506
人件費	3,205	4,317	-1,112
維持管理費	20,078	20,727	-649
事業支出	5	-	5
その他の経常支出	459	594	-135
経常支出計	102,139	127,849	-25,710
財務支出	227,986	139,753	88,233
支出合計	330,125	267,602	62,523
収支差額	-5,310	-3,532	-1,778
次期繰越金	97,944	103,254	-5,310

特別会計次期繰越金	2020年度決算	2019年度決算	増減額
建設・補修等積立金	235,840	424,885	-189,045
その他の積立金	81,388	65,796	15,592
繰越金総合計	415,172	593,935	-178,763

2020年度 指定献金・特別献金集計表			
(金額単位1,000円)			
項 目		2020年度	2019年度
世界こども助け合いの日献金		630	670
教区青少年の日献金		293	281
聖地のための献金		230	238
四旬節愛の献金		551	1,194
世界広報の日献金		177	320
聖ペトロ使徒座への献金		288	306
世界難民移住移動者の日献金		328	333
世界宣教の日献金		280	267
宣教地召命促進の日献金（宣教地司祭育成）		310	309
スリランカ献金等その他		-	766
司教様叙階特別献金		3,350	-
合 計		6,437	4,684

成井司教叙階式収支報告				
(金額単1,000位円)				
収 入 項 目 金 額		支 出 項 目 金 額		摘 要
小教区からの特別献金	3,350	叙階式諸経費	2,280	(特別献金-諸経費)
		一粒会会計へ積立	1,070	
全国の教区、修道会お祝	3,230	特別会計へ積立	3,230	
叙階式参列司教様、信徒等個人、その他お祝い	1,735	菊地大司教様、成井司教お礼、お祝い	1,700	(参列者お祝い-司教様お礼・お祝い)
		一粒会会計へ積立	35	
合 計	8,315	合 計	8,315	

2020年度							
教 会 名		信徒数	洗 礼		堅 信	結 婚 ^{注1}	求道者
			幼 児	成 人			
1	新 潟	575		1		3	2
2	花 園	217					
3	青 山	247		4			
4	寺 尾	168					
5	鳥 屋 野	53					
6	亀 田	73					1
7	白 根	15					
8	佐 渡	62					
新潟地区計		1,410	-	5	-	3	3
11	新発田（村上）	280		1			3
12	新津（村松）	150			2		
15	加 茂	42					
16	三 条	132				1	
17	見 附	139		1			4
18	栃 尾	20		2			
新発田地区計		763	-	4	2	1	7
21	長 岡	396		3			3
23	柏 崎	381		4			5
24	直 江 津	129		1			
25	糸 魚 川	164					
26	十 日 町	120					1
27	高田（妙高）	833	6	2	6		3
長岡地区計		2,023	6	10	6	-	12
新潟県合計		4,196	6	19	8	4	22
31	山形（新庄）	620	4	1	5	1	
32	酒 田	42					2
33	米沢（長井）	126		2			3
34	鶴 岡	194		1		2	
山形地区計		982	4	4	5	3	5
41 ^{注2}	秋 田	1,016		7			2
42	土 崎	356					
43	鹿 角	22					
44	大 館	68	1				
45	横手（上宿）	182	1				
46	能 代	22					
47	本 荘	51		1		1	
秋田地区計		1,717	2	8	-	1	2
新潟教区計		6,895	12	31	13	8	29
教役者・信徒							
信者総数		6,980	…教役者数85名＋一般信徒6,895名				

注1．結婚:信者同士、信者と他キリ、信者と非キリのみ。
注2．秋田教会には、聖体奉仕会シスターの人数（18名）が含まれています。

聖職者数	85	←司祭31、シスター52（修道会・在俗会） 神学生・修道士2
------	----	-----------------------------------

2020年度 一粒会会計収支状況			
(金額単位1,000円)			
項 目		2020年度	2019年度
前年度繰越残高		45,581	45,354
一粒会費収入額		3,701	3,894
神学生のための特別献金（司教叙階式）		1,107	-
収入額計 ①		4,808	3,894
神学生養成費		3,869	4,188
鍊成会等補助		14	29
支出額計 ②		3,883	4,217
収支残高 ①-②		925	-323
宣教地召命促進の日献金教区組入額		210	209
資金運用利息		390	341
次年度繰越残高残高		47,106	45,581

2020年度 建設・共済基金収支決算書					
自. 2020年1月1日～至. 2020年12月31日					
(金額単1,000位円)					
支 出 の 部			収 入 の 部		
科 目	2020年度決算	2019年度決算	科 目	2020年度決算	2019年度決算
会議費	-	-	小教区負担金	1,651	1,747
旅費交通費	-	-	貸付金利息	266	205
事務委託費	150	150	受取利息	2	2
支払手数料	1	2	配当・分配金	438	298
経 常 支 出 計	151	152	経 常 収 入 計	2,357	2,252
当期末貸付金残高	87,643	74,003	前期末貸付金残高	74,003	64,723
当期末現金預金残高	103,374	114,808	前期末現金預金残高	114,808	121,988
合 計	191,168	188,963	合 計	191,168	188,963

新 潟 司 教 区 統 計		
(2020年12月31日現在)		
1. 概 況		
(教区人口比：0.16557%)		
面 積 ……………	33,544.63Km ²	信者総数 …………… 6,980人
人 口 ……………	4,216,769人	求道者 …………… 29人
2. 人 員 構 成		
司 教 ……………	1	聖霊奉侍布教修道女会 邦人 ……… 3
教区司祭 邦人 ……………	12	外国人 …… 1
外国人 ……………	1	聖心の布教姉妹会 邦人 ……… 32
神言会員 邦人 ……………	4	オタワ愛徳修道女会 邦人 …… 3
外国人 ……………	6	聖クララ会 邦人 …………… 8
フランススコ会員		聖マリア在俗会 邦人 ……… 5
邦人(修道士1名含む) …	4	聖体奉仕会 邦人 …………… 18
イエズス・マリアの聖心会員		
邦人 ……………	1	
外国人 ……………	2	
他教区から派遣司祭 外国人 …	1	
教 区 神 学 生 ……………	1	
3. 事 業		
小教区教会・ ……………	30	教育事業
分教会・巡回教会 ……………	5	幼稚園 …………… 25
集会所 ……………	2	園児数 …………… 2,394
女子修道院（在俗会含む） ……	6	女子中学校 …………… 1
		生徒数 …………… 54
社会福祉事業		女子高等学校 …………… 2
老人ホーム ……………	5	生徒数 …………… 679
宿泊を伴う利用者数 ……	298	女子短期大学 …………… 2
その他の老人福祉事業 ……	10	学生数 …………… 453
宿泊を伴う利用者数 ……	123	児童福祉事業
宿泊を伴わない(年間のべ人数) …	38,698	保育園 …………… 6
その他の福祉事業 ……………	3	園児数(年間のべ人数) …… 149,248
宿泊を伴う利用者数 ……	45	その他の児童福祉事業 …… 11
		宿泊を伴う利用者数 …… 190
		宿泊を伴わない(年間のべ人数) … 24,023
4. 移 動		
転入	転出	死亡 …………… 77
教区内 …… 11	………… 12	
教区外 …… 12	………… 26	
その他 …… 25	………… 181	

2020年度

東日本大震災復興支援活動状況

2011年3月11日の東日本大震災発生から、今年3月で10年が経過しました。

2020年度に新潟教区でどのように被災地支援を行ったかについて取りまとめましたので、ご報告いたします。

2020年度の支援活動の概況

ご承知の通り、日本の司教協議会は、全国の教会を挙げて東日本大震災の被災地を支援する体制を2021年3月まで継続するとしてきました。そこで、その最後の年次となる2020年度分を取りまとめるにあたり、小教区、修道院等には10年間の支援の振り返りも併せてお願いしました。その結果、具体的な活動が特になかったところからもご連絡をいただきました。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

2020年度については、小教区13（教区で独自に把握したものを含む）、奉獻生活の会1、その他の団体5の計19団体についてご報告をいただきました。地区別では、秋田地区2、山形地区4、新発田地区2、新潟地区8、長岡地区3となっています。

全般的な傾向としては、祈りや献金・寄付などが多くなっていますが、それも、新型コロナウイルス感染拡大の影響で教会活動も大きな制約を受け、2020年3月以降は実施が困難になった様子が伺えます。その中にあることも、工夫をして支援を継続してくださったところもありました。

2020年度の支援活動について、地区ごとに別表1～5に示します。

10年間の活動の振り返り

お寄せいただいた分がち合ひの中から、いくつか抜粋してご紹介します。なお、詳細については、追って教区ウェブサイトで公開予定です。

＊特に、2013年4月14日に菊地司教様が当教会で講演された折『被災地の信徒から「もう私たちは忘れられているみたい」と言われてとても

ショックでした。今後とも手を差し伸べる教会であってほしい』とのお言葉が印象的でした。物質的な支援もさることながら、「決して忘れない」思いを込めてこれからも「東日本大震災ならびに他の災害被災者のための祈り」を継続していきたいと思っています。

（酒田教会）
10年という時間の経過の中で、共同体として目標をかげの活動はしてきませんでした。しかし、自分は何をしてあげられるだろうかと思い、個人的に支援を続けておられる信徒がおられるのではないかと思います。

（鶴岡教会）
三条教会、加茂教会ともこれといった大きな事項はありませんが、この10年の間に東日本大震災をはじめその後頻発している自然災害や事故、事件の被害者を思いやり、特に主日のミサの中で祈る機会が増えたことは確かです。また三条教会には2004年の7・13水害で被災した信徒や家族の突然死を体験した信徒が数名おり、ここから同じように苦しむ人々への共感や連帯の意識を育て、自身の信仰とつなげていくことを皆で心がけていきたいと思っています。

（三条・加茂教会）
2020年3月からはコロナ禍のため公開ミサが原則中止とされ、感染症対策が対応すべき課題として急に前面に現れてきた。課題が重畳してきている印象。個人的支援はコロナ禍に関わらず継続している。（花園教会）

＊東北大震災の被害状況を、難民移住移動者委員会の全国集会で現地に立つことで知ることができた。そこで、声をあげられない移住者の人たちの話が聞けた。継続して支援にとりくめたことは良かったと思う。現在のそのような状況の中ではあるが、心をつにしてまだ復興に立ち向かえず苦しんでいる人々にも心を寄せて、祈っていききたいと思う。（高田教会）

「オールジャパン」の枠組み終了と今後に向けて

この10年間、復興支援活動にあたって中心的な役割を担ってきた仙台教区サポートセンター、東京教区が設立し、カリタス南相馬（旧カリタス原町ベース）を主な拠点として宮城県南部（山元町）及び福島県における支援を行ってきたカトリック東京ボランティアセンター（CTVC）は3月末日で活動を終了しました。また、全国の教会を挙げての支援の枠組みであった、いわゆる「オールジャパン」体制も3月末日をもって終了となりました。

しかし、被災地の復興はまだ道半ばであり、カリタス釜石、カリタス大船渡、カリタス南三陸、カリタス南相馬は4月以降も活動を継続しています。また、地域住民の手に活動が引き継がれたところもあります。

これまでの活動を通して培われた繋がりをこれからも途切れさせず、広げていきたい。カリタスベースのスタッフの思いから、スタッフ有志が中心となり、「カリタスみちのく」が発足しました。今後は「カリタスみちのく」が、被災地での支援活動を行うベースやグループ同士の情報交換や全国への情報発信を行っていくとのこと、すでに活動は始まっています。また、東日本大震災に限らず、相次ぐ自然災害やコロナ禍で生活が困窮している方々など、必要とされるところへ支援をつなぐ活動をしていくとのこと。

これらの情報は「カリタスみちのく」Facebookでご覧になれます。「カリタスみちのく」で検索するか、QRコードをご利用ください。Facebookのアカウントがなくとも、インターネットでなくてもご覧いただけます。

新潟教区にあつては、仙台教区と隣り合わせであることから、今後も、現在あるつながりを大切に、隣人としての歩みの継続が望まれます。

今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【連絡先】
新潟司教館 気付 町田 正神父
ファックス：025-222-7467
電子メール：nig-cur@nancv.jp

別表1 秋田地区

活動主体	区分	実施日	活動内容	備考
土崎教会	祈り	主日ミサ後	・主日ミサ後に参加者全員で「主の祈り」として、「東日本大震災被災者のための祈り」を唱える。	・コロナ感染症対策として主日のミサ参加人数制限のため省略。

別表2 山形地区

活動主体	区分	実施日	活動内容	備考
酒田教会	継続的な祈り		・ミサ、みことばの祭儀開式前の祈りとして「東日本大震災ならびに他の災害被災者のための祈り」を全員で唱えている。	・他の自然災害も含めその都度寄付
	寄付		・東日本大震災だけでなく、他の災害被災地にもカリタスジャパンを通じて、信徒個人の寄付を合算して、送金している。	
	生活支援・交流		・近所に避難してきた福島からの家族を長年にわたりサポート。帰還後も毎年交流してきたが、コロナ禍のため今年は土産品の贈答のみ。	
山形教会	祈り	毎月第2日曜日	・東日本大震災犠牲者・被災者とその後のさまざまな災害被災者のためにミサの共同祈願で意向をささげ祈っている。	公開ミサが中止となったため、支援資金が不足、ミニバザーによる募金で支援継続。
	募金・寄付	毎月11日に近い日曜日	・「福島やさい畑」支援の募金を行い送金。	
オタワ愛徳修道女会山形修道院	祈り	毎日	・「東日本大震災被災者のための祈りⅡ」を共同体として、個人としても祈っている。	
	活動支援		・NPO法人「福島やさい畑」への協力。	
	寄付		・NPO法人「たらちね」（いわき放射能市民測定たらちね）への寄付。	

別表3 新発田地区

活動主体	区分	実施日	活動内容	備考
三条・加茂教会	祈り	主日ミサ後	・「東日本大震災被災者のための祈りⅡ」を全員で唱えていた。	・2020年3月から公開ミサ中止、6月の公開ミサ再開後は「新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り」に変更

別表4 新潟地区

活動主体	区分	実施日	活動内容	備考
青山教会	福島県産品販売		・バザーで果物、加工農産物を中心とした「福島やさい畑～復興プロジェクト」からの委託販売	
寺尾教会	寄付		・バザーの収益金の一部をカトリック東京ボランティアセンターに送金。	
	寄付	年1回	・嗜好品（トラピスト製品など）の共同購入、手づくり品の販売、収益の一部をカトリック東京ボランティアセンターへ送金。 ・NPO法人「福島やさい畑」の商品の委託販売。	
	福島県産品販売			
	祈り	各主日	・東日本大震災と度重なる自然災害被災者の共同祈願を祈る。 ・ミサの派遣の祝福の前に「東日本大震災被災者のための祈り」	
	活動支援		・「新潟からし種の会」の会員となって支援している方々がいる。	
新潟教会	啓発	常時	・仙台教区八木山教会ニュースレター設置、復興ニュースコーナーを継続。	・前年より継続
	福島県産品販売	8/30（日） 10/24、25（土、日）	NPO法人「福島やさい畑」商品の委託販売会を2回開催	・新潟からし種の会、東大畑茶寮と合同開催
	寄付	8/30（日） 10/24、25（土、日）	・福島県産品販売会時に、NPO法人「福島やさい畑」活動寄付金を募って送金。	
		9/27～10/25	・復興支援活動団体へ募金活動、送金。	(内訳) カリタスジャパン本部 カリタス南相馬サロン「真こころ」 八木山オリーブの会（亙理教会支援）
			・上越聖クララ会修道院よりクッキーを仕入販売 ・有志グループ「東大畑茶寮」手づくり食品を販売、収益はいずれもカリタスジャパンへ	・新潟からし種の会、東大畑茶寮と合同開催
	活動支援	年間	・NPO法人「福島やさい畑」～復興プロジェクト」を支援する「新潟からし種の会」に信徒有志が参加。	
花園・鳥屋野教会	祈り	主日	・主日ミサ後に「東日本大震災被災者のための祈りⅡ」を参列者一同で祈っている。	・2020年3月まで
	被災地産品購入		被災地産の水産物、農産物の購入	個人
	活動支援		・福島県在住の子供たちの保健を支援	個人
新潟からし種の会	献金・活動支援	年間	・NPO法人「福島やさい畑～復興プロジェクト」の活動支援（一口500円）	会員数35名 (内訳) 新潟 27 寺尾 5 青山 2 教会外 1
新潟 月曜会	祈り	月1回	・毎月の例会（ミサとロザリオ）で、「東日本大震災被災者のため加えて祈った。	
		2月17日	・例会でのミサを「東日本大震災の犠牲者。被災者、避難者のためのミサ」としてささげた。	
			・会員各自がこの意向でささげた祈りを取りまとめ、上記例会ミサと併せて霊的花束とし、仙台教区の平賀司教様と復興支援担当司教の菊地大司教様に送った。	

別表5 長岡地区

活動主体	区分	実施日	活動内容	備考
柏崎教会	祈り	3月11日に近い日曜日	・ミサにおいて、共同祈願、各自の祈りをささげた。	
高田教会	献金（予定）		・支援献金を続ける予定だったが、コロナのため、軒並み行事が中止となり思うように献金を集めることができなかった。	
直江津教会			・2020年度は支援活動はなかった。	

ひとりで悩まずわたしたちにご相談ください

カトリック新潟教区セクシャル・ハラスメント相談窓口

司祭・修道者による未成年者性虐待とセクシャル・ハラスメントについての窓口です

TEL 080-18912-8758

受付 毎週火曜日 13時～14時（除く祝祭日）



ペトロ地主敏夫名誉司教（札幌教区）
2021年5月4日帰天。90歳。
1988年1月15日司教叙階。司牧活動と共に、学校法人や医療法人の理事・理事長も歴任されました。



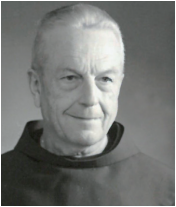
パウロ濱口末男司教（大分教区）
2020年12月28日 悪性黒色腫のため帰天。72歳。「全世界に行って、すべての造られたものに福音を延べ伝えなさい」をモットーに司牧活動に尽くされました。



ペトロ岡田武夫名誉大司教（東京大司教区）
2020年12月18日 頸部食道がんのため帰天。79歳。司教協議会会長など、多くの役職を担われ宣教司牧に尽くされました。



ブルーノ・ファブリ神父（フランシスコ会）
2020年12月11日 急性腎盂炎のため帰天。77歳。1969年来日後、長岡地区で長く宣教司牧に尽くされました。



レオ・バッシ神父（フランシスコ会）
2020年6月20日 老衰のため帰天。96歳。1954年来日後長岡地区で長く宣教司牧に尽くされました。



マリオ・カンドウッチ（フランシスコ会）
2020年2月16日帰天。85歳。
1963年来日後、長岡地区で長く宣教司牧に尽くされました。

計報

教区報発行の都合で、随時お知らせできなかった方々の計報をお知らせいたします。お祈りください。